

価値創造企業に関する賢人会議の設置について

1. 趣旨

- 我が国を取り巻くグローバルな競争環境は深化しつつも流動化しており、他方で、人口減少に伴い中小企業が支えてきた地域経済も衰退するなど、中小企業政策の全体像を問い直すタイミングに来ている。特に消費や生産が世界中の企業に開かれ、商品企画、原材料の調達、製造、販売といった一連のバリューチェーン全体で、イノベーションや国際競争力が問われる時代となった。
- このような状況の中で、経済全体のパイを拡大し、大企業と中小企業が互いに稼げる「共存共栄の関係」を実現するためには、新たな価値創造に向けたサステナブルなバリューチェーンの再構築が必要と考えられる。
- 以上の問題意識の下、今般、大企業及び中堅・中小企業の経営者等をメンバーとして価値創造企業に関する賢人会議を設置する。

2. 検討事項

- 大企業と中小企業との「共存共栄モデル」や、グローバル・バリューチェーンの中で互いに稼ぐ条件（取引適正化、オープンイノベーション、バリューチェーン複層化）等について、自由にご議論いただき、今後の中小企業政策の見直しにつなげることを目指す。

3. 検討の進め方

- 12月に第1回を開催。来年2月に中間とりまとめ。